

016

歴史に親しむ金沢 その1

身近な金沢の歴史と文化を、初歩から分かり易く学べる

講座内容

源頼朝が創立した鎌倉幕府が基礎をおいた都市、鎌倉は相模湾に面していましたが、この海岸は遠浅で波も荒く、大きな船舶による物資の交易には無理がありました。そこで幕府は背面の東京湾に面した金沢の中心である六浦湊を幕府の台所とすべく、一族の北条金沢北条氏にその支配を任せました。この講座では鎌倉時代から、開発されてきた金沢の歴史と文化を4回の講座によって理解出来るように構成しました。今回はその第1回目にあたります。

期 間	5月25日～6月22日	受講料	一般 3,600円 学生 1,000円
曜 日	土曜日	定 員	40名
時 間	10:00～12:00	会 場	横浜・金沢八景キャンパス
回 数	全5回	持ち物	筆記用具
教 材	レジュメやプリントを使用します。		
備 考	第4回(6/15)は街歩きを行います。詳細は講座の中でご案内します。		

講座スケジュール

回数	日 程	内 容	担当講師
1	5月25日(土)	『金沢を拓いた北条実時』 鎌倉幕府の源家将軍は三代で断絶、実権は北条氏に引継がれる。北条実時は3代執権泰時に見込まれ、以後6人の執権に仕える。同時に彼の別業のあった地、金沢に称名寺・金沢文庫を創建した。又、「河内本源氏物語」を書写し、文庫に保管する文化人の貌を持つ。	林原 泉
2	6月 1日(土)	『浄土庭園の変遷と称名寺庭園』 平安中期以降、末法思想が流布するが、この講義では1)日本庭園の歴史とその様式、2)末法思想と浄土庭園、3)藤原道長が建立した法成寺、3)浄土庭園の構成要素とその変遷、4)金沢北条氏が造った称名寺庭園(最後の浄土庭園)につき概説。	村尾 篤彦
3	6月 8日(土)	『中世の海上架橋、瀬戸橋』 中世においては寺院、橋・道路の設計建設する技術者は仏教集団が担っていました。講義では六浦荘の成り立ち、六浦津と瀬戸橋架橋の目的と資金調達、瀬戸橋の完成とその姿、その後の変遷、金沢八景と瀬戸橋等について概説する。	田中 保
4	6月15日(土)	街歩き 『歴史の道』を散策・ガイド 京急金沢八景駅に集合、金沢北条氏黄金期における街道「歴史の道」：瀬戸神社～琵琶島神社～瀬戸橋～龍華寺～安立寺～伝心寺～金澤八幡神社を通り、北条実時の別業があった金沢三山の麓に立つ称名寺、県立金沢文庫まで散策・ガイドする。	田中 保
5	6月22日(土)	『鎌倉武士たちの伝説と史実』 金沢ゆかりの鎌倉武士について、素性やその去就について考察する。講義では「上総介塔は誰の墓か?」、朝夷奈切通しを一夜にして切り開いたという「朝比奈三郎義秀」とは? 畠山重忠は悲劇の武将? 源範頼を知っていますか? といった疑問等について言及します。	井上 泰利

講師紹介

村尾 篤彦(むらお あつひこ)

NPO法人横濱金澤シティガイド協会元理事長

田中 保(たなか たもつ)

NPO法人横濱金澤シティガイド協会理事

林原 泉(はやしばら いずみ)

NPO法人横濱金澤シティガイド協会元理事 郷土史家

井上 泰利(いのうえ やすとし)

NPO法人横濱金澤シティガイド協会元理事